

## 伝統の技と自由な発想で漆器に向き合う

えちぜんしゅき 越前漆器 × つちだ なおと 土田 直東 [福井県鯖江市]

1500年という長い歴史と伝統を持つ越前漆器は、福井県鯖江市を中心に、<sup>さばえ</sup>素地作りから塗り、加飾に至る仕上げまで、さまざまな工程を分業で生産しています。主に飲食店や宿泊施設などで利用される業務用漆器の国内シェア8割を占めるという漆器の一大産地鯖江で、個人消費者をターゲットに据えた新たなモノづくりを展開する<sup>つちなお</sup>土直漆器。素地作り以外の全工程でそれぞれ専門職人を社内に抱え、一貫した生産体制を持つことで、新商品を開発しやすく素早く商品化できる体制を築いているそうです。持ち歩ける漆器をコンセプトに、色味や質感など現代的な感覚で作られたタンブラーや文具などのほか、さまざまなコラボレーションにも積極的に取り組み、伝統的な漆器文化を広めています。



●くるむシリーズ 組椀(白・紺)  
やさしく、かわいらしいフォルムのお椀。現代の生活に合わせて重ねて収納することができる。使い込むにつれ、器が経年変化していく様子も楽しみたい。



●URUSHI MOBILE TUMBLER 蒔地(まきじ)  
二重構造のタンブラー「thermo mug」と職人の技がコラボした製品。普段使いもしやすい。

【株式会社 土直漆器】  
福井県鯖江市西袋町214  
TEL:0778-65-0509  
<http://www.tsuchinao.com/>



●直右工門 椀 日月(木地呂・木地呂内朱)  
モダンなデザインに、創業者である先代の技術を継承したトラディショナルなお椀。



工場に直接商品を買に来る人が多いことから、2020年7月に工場に隣接する直営店を開店した。

### 土田 直東 (株式会社 土直漆器 代表取締役社長)

1980年に父である土田直氏が株式会社土直漆器を設立。大学卒業後、大手外資系レコード販売店のバイヤーを経て2003年に同社に入社。お椀の下地から始まり、中塗りを経て、現在は仕上げの上塗りを担当している。2013年に代表取締役社長に就任。12名の漆器職人とともに、日々新たなモノづくりに挑んでいる。

紹介動画は  
こちらから

